

泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト

(有効性評価 付録1 事故シーケンスグループ及び重要事故シーケンス等の選定について(確率論的リスク評価(レベル1PRA(津波PRA))) )

ID	No	コメント内容	ヒアリング日	対応状況*	回答完了日	回答概要	資料反映箇所	積み残し事項の回答予定時期
221220-23	1	PPT13ページ) 誤記修正「津波発生頻度(ノ炉年)」⇒「津波発生頻度(ノ年)」 また、年超過確率・津波発生頻度・炉心損傷頻度について、同じ値で単位が異なるので、その考え方も踏まえ補足の追記等を検討すること。	R4. 12. 20	本日回答		まとめ資料本文中に津波発生頻度及び炉心損傷頻度それぞれの算出方法に関する説明を追記した。 また、概要説明資料(PPT)についても単位の表記が適切となるよう記載を適正化する。	資料2-1『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 付録1 事故シーケンスグループ及び重要事故シーケンス等の選定について(SAE8 r. 3. 3)』 ・P. 3. 2. 2-7, 8  資料2-2『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 付録1 事故シーケンスグループ及び重要事故シーケンス等の選定について(SAE8-9 r. 3. 3)』 ・P. 37条 付録1-別添3-3. 2-3. 2. 2-14, 20	
221220-24	2	付録1-別添3-補足3. 2. 2. d-1-1) 「津波の高さに応じ防水壁が機能喪失することを想定して」とあるが、評価としては越流するが防水壁は壊れないので、誤解を受けないような記載を検討すること。	R4. 12. 20	本日回答		防水壁に関する評価方針が明確となるよう記載を適正化した。 (旧)「防水壁が機能喪失することを想定」 (新)「防潮堤や防水壁を越流して敷地内に津波が遡上する可能性を想定」	資料2-1『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 付録1 事故シーケンスグループ及び重要事故シーケンス等の選定について(SAE8 r. 3. 3)』 ・P. 補足3. 2. 2. d-1-1  資料2-2『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 付録1 事故シーケンスグループ及び重要事故シーケンス等の選定について(SAE8-9 r. 3. 3)』 ・P. 37条 付録1-別添3-補足3. 2. 2. d-1-2	
221220-25	3	付録1-別添3-補足3. 2. 2. d-1-2) 「取水路及び放水路の開口部より、津波が敷地に流入する」について、流入経路の考え方を踏まえて、記載の適正化を検討すること。	R4. 12. 20	本日回答		評価上想定する津波流入経路の考え方が明確となるよう説明を追記した。(2. a. 浸水解析条件)	資料2-1『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 付録1 事故シーケンスグループ及び重要事故シーケンス等の選定について(SAE8 r. 3. 3)』 ・P. 補足3. 2. 2. d-1-1, 2, 4  資料2-2『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 付録1 事故シーケンスグループ及び重要事故シーケンス等の選定について(SAE8-9 r. 3. 3)』 ・P. 37条 付録1-別添3-補足3. 2. 2. d-1-2, 3, 5	

\*: 検討状況・方針等のみをご説明の場合は、「一部説明」という用語で識別する。

ID	No	コメント内容	ヒアリング日	対応状況*	回答完了日	回答概要	資料反映箇所	積み残し事項の回答予定時期
221220-26	4	比較表52ページ) 「PWD」を「プラントワークダウン」とするか、読み替えを行うか、適切な記載を検討すること。	R4. 12. 20	本日回答		略語を用いた記載について図中の表現を適正化した。 (旧) 「PWD」 (新) 「プラントワークダウン」	資料2-1『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 付録1 事故シナシナグループ及び重要事故シナシナ等の選定について (SAE8 r. 3. 3)』 ・ P. 3. 2. 2-27  資料2-2『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 付録1 事故シナシナグループ及び重要事故シナシナ等の選定について (SAE8-9 r. 3. 3)』 ・ P. 37条 付録1-別添3-3. 2-3. 2. 2-52	

\*: 検討状況・方針等のみをご説明の場合は、「一部説明」という用語で識別する。